

# 競 技 注 意 事 項

1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。

2 競技者の招集について

(1) トラック競技の招集場所は、100mスタート地点の後方に設ける。

(2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準として次の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	30分前	15分前
棒 高 跳	45分前	30分前

(3) 招集方法

・点呼は時間を守り、必ず本人が行くこと。

・招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

<トラック競技>

・競技者係のところに行き自分のナンバーカードを見せ、自分の種目・組・レーン・氏名を伝え、出場することを競技者係に伝え確認を受ける。

・点呼が終了しても、勝手に移動せず、競技者係の指示に従う。

<フィールド競技>

・競技の進行に注意し、各競技場所に時間までに集合する。

・競技場所において、審判員に点呼を受ける。

・点呼が終了しても、勝手に移動せず、審判員の指示に従う。

<混成競技>

・上記のトラック競技、フィールド競技の要領と同じとする。

3 トラック競技について

(1) 同種目でも、組によって点呼時間が異なるので注意する。

(2) トラック競技の出場者は、各自準備した腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方につける。但し、中長距離種目の10レーン以降の腰ナンバーカードは競技者係より借り受けることができる。その際はフィニッシュ後に必ず係に返却すること。

(3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。

(4) リレーのオーダーは次の時間通りに競技者係へ提出する。

## 各ラウンドの1組目の招集完了時刻の60分前まで

(5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部において抽選決定し掲示する。

(6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば着差ありとし決定する。この結果、まだ同成績我がいる場合には本部にて抽選とする。

(7) 男女800m予選は安全の確保のため、階段スタートで行う。

(8) 男女1500m決勝は、16名で行う。

(9) リレーではバトンパスが終わったら、自分のレーンのマークを外すこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。

(10) 男女の800m決勝は2組とし、A決勝が予選1着プラスタイム上位者、B決勝が残りのプラス進出者とする。表彰についてはA決勝の順位で決定する。

(11) 男女200m、男子400m決勝は、予選の結果により上位8名によるA決勝と、9番目から16番目によるB決勝で行う。ただし、表彰についてはA決勝の順位で決定する。

(12) 本大会のスタートについては、第162条5を適用せず、不適切行為を注意にとどめる。但し、不適切行為が繰り返し行われるなど、悪質なものは第125条5および第145条2を適用し、失格とする。

4 フィールド競技について

(1) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子 走高跳（練習1m35） 1m40（以後5cm上げ） 1m65以後3cm上げとする

女子 走高跳（練習1m15） 1m20（以後5cm上げ） 1m40以後3cm上げとする

(2) 四種競技の走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子 走高跳（練習1m30） 1m35 1m40（以後3cm上げ）

女子 走高跳（練習1m10） 1m15 1m20（以後3cm上げ）

- (3) 棒高跳びのバーの上げ方は次の通りとする。  
2 m30 20cm上げ 2 m70以後10cm上げ
- (4) 走幅跳と砲丸投については予選を行う。予選通過標準記録は下記の通り。  
男子 走幅跳 5 m20 砲丸投 8 m50  
女子 走幅跳 4 m40 砲丸投 8 m00
- (5) 走幅跳、砲丸投における計測ラインは以下の通りとする。(当日の天候などによる変更あり)  
男子 走幅跳 4 m20 砲丸投 7 m00  
女子 走幅跳 3 m40 砲丸投 7 m00
- (6) 予選通過の標準記録を越えた者が12名に満たない場合は、上位から12名および12番目と同順位の競技者を決勝に出場させる。

5 その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与し、3位までの入賞者にはメダルを授与する。
- (2) 表彰は決勝終了後ただちに行うので、8位までに入賞した選手はそのまま本部前に集合すること。他の種目と重なって出られないときは代理の者を出すこと。
- (3) 選手以外の者は、絶対、競技場内に立ち入らないこと(特に本部前は通行禁止)。
- (4) 自分のごみは、持ち帰ること。
- (5) 札幌市中体連陸上競技大会心得をよく読み、競技者としてまた中学生として恥ずかしくない行動をとること。
- (6) 1500mで周回遅れになった競技者には、競技を中止させる。3000mでは、先頭の走者が2600mを通過する前に周回遅れとなった競技者には、競技を中止させることもある。但し、プラスアルファに支障をきたす場合は、この限りではない。
- (7) 競技規則第145条2及び第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。
- (8) 盗撮行為防止のため、競技者の迷惑のかかる恐れのあるすべての方向からの撮影・行動を禁止します。(例えば、トラック種目スタート時の前方・後方からの撮影や走幅跳砂場正面からの撮影など)。また、競技場内で撮影した全ての写真・動画は確認させていただく場合がございます。